



VCE、IT 業界で長い経験を持つロバート・スティーブソンを 日本のカントリーマネージャに任命

日本、東京-2014年2月20日-コンバージド・インフラストラクチャシステムのリーダーである VCE は本日、VCE の日本におけるカントリーマネージャにロバート・スティーブソン (Robert Stevenson) が就任したことを発表しました。

スティーブソンは、VCE のコンバージド・インフラストラクチャビジネスモデルおよびビジョンを牽引する責任を担います。スティーブソンは、その役割として、サービスプロバイダを通じて日本の次世代のビジネス、また金融、通信、政府、教育業界のリーディング企業における IT ニーズに適應するプライベート、パブリック、およびハイブリッドクラウドソリューションを提供する業務に取り組みます。

スティーブソンは次のように述べています。「VCE は、包括的な IT インフラストラクチャ機能を提供することで、組織がその規模や業界にかかわらず、テクノロジーとビジネスの両分野でイノベーションを追及できるよう支援してきます。日本は、アジア太平洋地域において、データセンターに対する大きな需要を秘めた市場であり、今後数年間でさらに著しい成長を遂げると私たちは確信しています。VCE は、コンバージド・インフラストラクチャプラットフォームを提供することで、日本のサービスプロバイダおよび企業が世界の舞台上で著しい成長を達成できよう支援していきます。VCE のチームがこの機会を追及する一助となれることをうれしく思います」

VCE、APJ、バイスプレジデント、ポール・ハラピン (Paul Harapin) は次のように述べています。「VCE にとって日本は、当社が更なる成長を遂げるために非常に重要な戦略的市場です。この業界での長い経験と優れた実績を有するロバート・スティーブソンが日本で VCE チームに加わり、事業を牽引してくれることを頼もしく思います。ロバートは、日本市場での豊かな経験と理解を私たちのビジネスにもたらしてくれるでしょう。日本が転換をとげようとしているこの時に、ロバートがその経験とリーダーシップを発揮して、転換を実現するテクノロジーを市場に送り出すことで、組織が多大なメリットを得ることができることを期待しています」

スティーブソンは、IT から製造および販売管理にいたる 30 年以上の経験を有し、Avaya、BEA Systems、Dell および EMC で経営幹部としてリーダーシップを発揮してきました。1980 年から日本および北アジアで勤務した経験があり、この地域の IT およびプロセス化学業界に精通しています。

VCE について

シスコと EMC が VMware およびインテルより投資をうけて設立した VCE は、コンバージド・インフラストラクチャおよびクラウドベースのコンピューティングモデルの採用を促進し、企業の IT コストの大幅な削減と、製品開発期間の短縮を同時に実現しています。VCE は、Vblock システムを通じて、シスコのコンピュータおよびネットワーク技術、EMC のストレージおよびデータ保護、VMware の仮想化および仮想化マネジメントが完全統合された業界唯一の真のコンバージド・インフラストラクチャシステムを提供しています。VCE ソリューションは広範なパートナーネットワークを通じて提供され、水平型アプリケーションから各業界に対応した垂直型の製品やサービス、アプリケーション開発環境までを幅広く網羅しています。これにより、導入企業は IT インフラの統合や検証、運用管理を行う手間を解消し、ビジネスイノベーションに注力することができます。VCE の詳細は [HTTP://JAPAN.VCE.COM/](http://japan.vce.com/)をご覧ください。

Vblock、VCE および VCE のロゴは、VCE Company LLC または米国他各国におけるアフィリエイトの登録商標または商標です。本リリース内で言及されているその他のすべての商標および名称は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。「パートナー」または「パートナーシップ」という用語の使用は、VCE とその他の組織とのあいだの法的なパートナーシップ関係を意味するものではありません。

報道用問い合わせ先:

清水美孝

03 5269 1038

vce@jspin.co.jp